

日時：2015年3月12日 12:00-13:00

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス 53号館 201教室

1. 審議事項

① 副部会長および次期幹事について（宮本副部会長）

- 角部会長より、来年度の副部会長および幹事についての決定方法の内規について確認の説明がなされ、合意された。
- 宮本副部会長（次期部会長）より、矢島先生（鳥取大学）が次期副部会長として推薦され、合意された。
- あわせて、大石主任研究員（土木研究所，再任），田代先生（名古屋大学）が来年度幹事として推薦され合意された。

② 平成27年度の研究集会について

- 角部会長から、平成27年度の研究集会（京都大学：黄檗キャンパス，5/18：研究集会，5/19：現地見学）について説明された。現地見学で訪れる亀岡周辺では、治水，環境（氾濫原環境やアユモドキ），地域経済（Jリーグの施設）を総合的な議論がなされている等の説明があった。
- パネルディスカッションのメンバーについては現在思案中である。
- 5/18は高橋裕先生のJapan Prize受賞記念祝賀会が開催予定であるが、日程変更を行わず研究集会を開催するとの報告があった。

2. 報告事項

① 水工学委員会報告（角部会長）

- 資料を元にH26年度第2回水工学委員会（3/10開催）の議事内容が紹介された。特に下記について確認された。
 - ✓ 水理公式集の編纂については第2稿まで進んでいる。
 - ✓ 水シンポジウムは福井で8/27-28に開催される。
 - ✓ H27年度水工学に関する夏季研修会は，横浜国大で8/24-25に開催される。
 - ✓ H27年度水工学講演会は，東北工業大学で3/14-16に開催される。
 - ✓ H26年度水工学論文集の採択率は78.9%であった。
 - ✓ 河川技術論文賞が新設される。

② 樹林化WG（宮本副部会長）

- 樹林化ワークショップ（12/5-6開催）について，河川部会と共同で開催した。

- 今後、樹林化カルテ (DB) の構築に向けて作業を進めていく予定である。
- ③ 閉鎖性水域 WG (矢島先生)
 - 本 WG の目的とねらいとして、閉鎖性水域に適用できる数値モデルの確立、若手研究者の養成、情報交換であることが述べられた。
 - 環境水理シミュレーションの開発と利用に関するワークショップ (12/20, 東京) の開催報告がなされた。今後、水質管理や流動特性に関わる内容の希望に答えたようなワークショップを開催していくつもりであることが述べられた。
- ④ 動的総合土砂管理 WG (竹林先生)
 - 12 月開催予定であった耳川の現場見学会については、諸般の事情で中止となったことが報告された。今後、調整を進めて H27 年度出水期前 (6 月) をめどに開催する予定である。また、黒部川等、他河川においても現地見学会を実施する予定としている。
- ⑤ 教科書 WG (二瓶先生)
 - 環境水理学の教科書が出版になったことが報告された。毎年 50 部を最低限の目標として PR していきたい。部会の HP や ML で告知する。

3. 報告事項

- ① 河川砂防技術基準 (調査編) を元にした意見交換会について (角部会長)
 - 応用生態工学会との意見交換会に積極的に参加して欲しいとの依頼がなされた。11 章に河川環境調査の項目があるが、部会に参加されている使う側の人たち (とくにコンサルタント) に意見を求めたい。本意見交換会には、オブザーバーとして参加が可能とのこと。
- ② 応用生態工学論文集について (竹林先生)
 - 現場で得られた成果に関する論文が少ないことや、応用生態の投稿も現状で少ないので、積極的に論文投稿をお願いしたい。
- ③ iRIC 講習会について (竹林先生)
 - 6 月 3,4 日に札幌で iRIC や Fantom に関する応用編の講習会を行うので参加して欲しい。

(大槻、大石、田井)



部会の様子（井芹さん提供）